

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第42週（令和6年10月14日～令和6年10月20日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・マイコプラズマ肺炎の報告数が例年より多く推移しています。本疾患は、肺炎マイコプラズマという細菌の感染によって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人に多くみられる疾患ですが、成人の報告もあります。潜伏期間は通常2～3週間で、発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などの症状がみられます。咳は、解熱後も長く（3～4週間）続くのが特徴です。本疾患に感染した一部の人は肺炎となったり、重症化することもあります。咳が長引く等の症状がある場合は、かかりつけ医等の医療機関に電話で相談の上、受診してください。感染経路は、飛沫感染や接触感染といわれています。予防には、普段から流水と石けんによる手洗いをするのが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避け、咳の症状がある場合にはマスクを着用する等“咳エチケット”を守りましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	698	215	12,053
腸管出血性大腸菌感染症	2	136	129	2,985
腸チフス	1	2	1	33
日本紅斑熱	1	6	17	361
レジオネラ症	4	59	51	1,808
梅毒	15	689	205	11,431
百日咳	12	115	139	2,139

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	200	1.01	0.72	11,717	2.38
インフルエンザ	114	0.58	1.14	4,391	0.89
RSウイルス感染症	12	0.10	0.35	992	0.32
咽頭結膜熱	14	0.12	0.48	697	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	476	3.97	0.91	6,262	2.00
感染性胃腸炎	393	3.28	0.93	8,237	2.63
水痘	57	0.48	1.73	457	0.15
手足口病（警報レベル）	984	8.20	0.79	33,760	10.78
伝染性紅斑	10	0.08	3.33	791	0.25
突発性発しん	50	0.42	1.00	788	0.25
ヘルパンギーナ	56	0.47	1.14	1,189	0.38
流行性耳下腺炎	9	0.08	1.80	95	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	5	0.01
流行性角結膜炎	8	0.31	0.73	346	0.50
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	27	0.06
マイコプラズマ肺炎	35	2.33	1.25	935	1.95
クラミジア肺炎	0	0.00	—	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	—	4	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。